

令和4年度(2022年度)

定期監査結果報告書

城陽市監査委員



4 城 監 第 3 6 号
令和 5 年 2 月 1 4 日
(2023年)

城陽市議会議長 谷 直樹 様

城陽市監査委員 川村 和久



城陽市監査委員 奥村 文浩



令和 4 年度 (2022年度) 定期監査の結果報告について

地方自治法第 1 9 9 条第 1 項、第 4 項及び城陽市監査委員監査の基準等に関する要綱の規定による令和 4 年度 (2022年度) 定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果に関する報告を次のとおり提出します。

第 1 監査の種類

地方自治法第 1 9 9 条第 1 項、第 4 項及び城陽市監査委員監査の基準等に関する要綱の規定による定期監査

第 2 監査の対象

令和 4 年 (2022年) 4 月から令和 4 年 (2022年) 7 月までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理 (必要に応じて期間前の事務事業を含む)

令和 2 年度 (2020年度) から令和 4 年度 (2022年度) までにおける市の事務の執行 (行政監査を兼ねる)

第 3 監査の実施期間

令和 4 年 (2022年) 8 月 1 日から令和 5 年 (2023年) 1 月 3 0 日まで

第 4 監査の対象部局

- 1 まちづくり活性部 (東部丘陵整備課、新名神推進課、商工観光課、農政課)
- 2 都市整備部 (都市政策課、管理課、土木課、営繕課)
- 3 消防本部 (総務課、予防課、警防課、救急課、久津川消防分署、青谷消防分署)
- 4 監査委員事務局
- 5 公平委員会事務局
- 6 選挙管理委員会事務局
- 7 農業委員会事務局

第 5 監査の着眼点 (評価項目)

地方自治法第 1 9 9 条第 1 項の規定による、市の財務に関する事務の執行が、事務事業の目的に沿って適正かつ効率的に行われているか、市の経営に係る事業の管理が、合理的かつ能率的に行われているかを主眼として監査を実施した。

また、地方自治法第 1 9 9 条第 2 項の規定による行政監査の視点から、市の事務または事業の執行について、経済性、効率性及び有効性を主眼として監査を実施した。

第6 監査の実施内容

あらかじめ対象部局に係る資料の提出を求め、抽出した事項を対象に係る諸帳簿及び証拠書類を事前に審査し、現地調査及び関係職員から説明を聴取して監査を実施した。

第7 監査の結果

事務の執行等については、おおむね適正に処理されているものと認められた。ただし、一部の事務については、以下に示すように改善及び検討を要する事例が見受けられたので、今後、適正な事務処理に努められたい（指摘事項として記載）。指摘事項に至らない事例については、要望等として記載しており、事務執行の参考とされたい。

I 個別指摘事項等

1 まちづくり活性部

(1) 東部丘陵整備課（説明聴取日：令和4年10月13日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

補助金の交付決定に係る事務処理において、支出負担行為に係る専決区分の誤りを見受けた。

事務決裁規程で定める専決区分に従い、適切に事務処理されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 156,563,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
東部丘陵地の整備に係る経費	143,294,000	3,027,071	2.1
東部丘陵地の利用支援に係る経費	26,665,000	43,800	0.2
その他の経費	10,110,000	2,579,898	25.5
合計	180,069,000	5,650,769	3.1

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
東部丘陵地の利用支援に係る経費	7,832,000	0	0.0
合計	7,832,000	0	0.0

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(2) 新名神推進課（説明聴取日：令和4年10月13日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,994,612,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,018,938,000	円 586,838,000	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
東部丘陵線の整備に係る経費	1,925,422,000	30,927	0.0
一般管理に係る経費	4,624,000	1,220,325	26.4
新名神高速道路等の整備促進に係る経費	320,000	54,416	17.0
合計	1,930,366,000	1,305,668	0.1

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
東部丘陵線の整備に係る経費	1,178,231,000	57,221,300	4.9
合計	1,178,231,000	57,221,300	4.9

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(3) 商工観光課（説明聴取日：令和4年10月17日）

- ① 指摘事項は、次のとおりである。
特に指摘すべき事項は見られなかった。
- ② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 520,539,000	円 267,728,620	円 2,025,548	% 0.4	% 0.8

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
融資に係る経費	286,405,000	240,648,100	84.0
プレミアム付商品券の発行に係る経費	109,000,000	98,100,000	90.0
その他の経費	273,743,000	69,366,559	25.3
合計	669,148,000	408,114,659	61.0

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

ア 補助金交付事業について、実績報告の関係証拠書類に一部記載誤りが見られることから補助事業者に対し適切に指導されたい。

イ 融資預託金で、金融機関に預託する際に取り交わす契約書は、資金の預託を証する証拠書類となるので、金庫での保管など適切な管理に努められたい。

(4) 農政課（説明聴取日：令和4年10月17日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 39,256,000	円 7,131,029	円 2,023,300	% 5.2	% 28.4

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
水田農業の振興に係る経費	9,087,000	1,378,922	15.2
森林保全に係る経費	7,509,000	0	0.0
その他の経費	43,146,000	4,360,213	10.1
合計	59,742,000	5,739,135	9.6

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

補助金交付事業について、実績報告の関係証拠書類に一部記載誤りが見られることから補助金の実績報告を受けた際には実績報告書とその関係証拠書類を十分に確認するとともに、不備等がある場合は補助事業者に対し適切に指導されたい。

2 都市整備部

(1) 都市政策課（説明聴取日：令和4年10月4日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 調定処理について、調定漏れを見受けた。

歳入の収入状況について正確に把握し、適切な収入未済額の管理と調定処理に努められたい。

イ 300万円以上の支出負担行為となる補助金交付決定において、会計管理者への合議の漏れを見受けた。

高額の支出負担行為については、市の資金計画に影響を与えるため、会計課への事前協議は徹底されたい。

ウ 窓口で販売されている都市計画図の在庫管理について、パソコンのデータ上の在庫数と実際の在庫数が合致していない状況を見受けた。

都市計画図は、市の収入となる物品であるため、在庫確認を定期的に行うなど適切に管理されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 437,453,000	円 25,643,210	円 14,782,960	% 3.4	% 57.6

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 709,826,000	円 414,122,000	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
山城青谷駅周辺道路等の整備に係る経費	564,816,000	87,288,000	15.5
JR奈良線高速化・複線化の促進に係る経費	420,649,000	7,800	0.0
その他の経費	207,581,000	10,233,162	4.9
合計	1,193,046,000	97,528,962	8.2

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
山城青谷駅周辺道路等の整備に係る経費	709,056,000	210,712,000	29.7
寺田駅周辺の整備に係る経費	84,236,000	0	0.0
寺田駅周辺道路の整備に係る経費	5,779,000	0	0.0
合計	799,071,000	210,712,000	26.4

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(2) 管理課（説明聴取日：令和4年10月21日）

- ① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 補助金について、額の確定がされていないものを見受けた。

補助金の額の確定は補助金の交付額を最終的に確定する行為であることから、規則に則って適切に処理されたい。

イ 城陽市交通安全対策協議会活動補助金関係書について、市が当協議会の事務局となっているが、市の立場で事務処理されている案件と協議会事務局の立場で事務処理されている案件が同一簿冊内に保存されている状況を見受けた。

市としての文書と協議会事務局としての文書は区別して保存し、また協議会事務局の起案文書等の文書様式についても市の様式と明確に区別するなど、適切な文書処理と管理に努められたい。

- ② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 339,077,000	円 176,721,214	円 144,556,570	% 42.6	% 81.8

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 21,014,000	円 18,613,300	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
道路橋りょうの管理に係る経費	76,431,000	13,217,834	17.3
城陽駅自由通路等の管理に係る経費	63,558,000	19,009,699	29.9
その他の経費	340,132,000	23,987,976	7.1
合計	480,121,000	56,215,509	11.7

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
城陽排水機場の管理に係る経費	15,602,000	0	0.0
交通安全対策に係る経費	5,477,000	0	0.0
市道12号線外2路線の整備に係る経費	2,229,000	0	0.0
合計	23,308,000	0	0.0

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(3) 土木課（説明聴取日：令和4年10月21日）

- ① 指摘事項は、次のとおりである。
特に指摘すべき事項は見られなかった。
- ② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,005,967,000	円 261,600	円 75,300	% 0.0	% 28.8

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 655,031,000	円 294,931,000	円 0	% 0.0	% 0.0

[事故繰越]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 2,700,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
山城青谷駅周辺道路等の整備に係る経費	311,234,000	88,931	0.0
中村道踏切の改良に係る経費	238,598,000	513,000	0.2
その他の経費	541,150,000	18,397,235	3.4
合計	1,090,982,000	18,999,166	1.7

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
山城青谷駅周辺道路等の整備に係る経費	322,408,000	52,365,530	16.2
中村道踏切の改良に係る経費	141,026,000	50,487,000	35.8
その他の経費	214,922,000	58,006,600	27.0
合計	678,356,000	160,859,130	23.7

[事故繰越]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
市道11号線の整備に係る経費	2,750,000	0	0.0
合計	2,750,000	0	0.0

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(4) 営繕課（説明聴取日：令和4年10月4日）

- ① 指摘事項は、次のとおりである。
特に指摘すべき事項は見られなかった。
- ② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
一般管理に係る経費	6,483,000	761,747	11.7
建築庶務に係る経費	4,430,000	1,060,625	23.9
合計	10,913,000	1,822,372	16.7

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

3 消防本部（説明聴取日：令和4年10月13日）

【総務課、予防課、警防課、救急課、久津川消防分署、青谷消防分署】

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 68,569,000	円 1,601,262	円 1,448,416	% 2.1	% 90.5

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
一般管理に係る経費	81,786,000	18,341,162	22.4
消防車両の購入に係る経費	41,809,000	0	0.0
その他の経費	135,576,000	32,866,399	24.2
合計	259,171,000	51,207,561	19.8

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

4 監査委員事務局（説明聴取日：令和4年10月4日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
監査等業務に係る経費	2,791,000	705,232	25.3
一般管理に係る経費	120,000	0	0.0
合計	2,911,000	705,232	24.2

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

5 公平委員会事務局（説明聴取日：令和4年10月4日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
公平委員会業務に係る経費	1,017,000	217,700	21.4
一般管理に係る経費	23,000	0	0.0
合計	1,040,000	217,700	20.9

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

6 選挙管理委員会事務局（説明聴取日：令和4年10月4日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 55,424,000	円 33,552,433	円 33,552,433	% 60.5	% 100.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
参議院議員通常選挙に係る経費	28,722,000	7,311,200	25.5
知事選挙に係る経費	17,413,000	16,709,522	96.0
その他の経費	16,471,000	1,723,984	10.5
合計	62,606,000	25,744,706	41.1

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

備品で既に使用できないもの、また今後使用する見込みのないものについては、速やかに廃棄処分されたい。

7 農業委員会事務局（説明聴取日：令和4年10月17日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和4年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 4,868,000	円 2,643,400	円 196,400	% 4.0	% 7.4

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
農業委員会業務に係る経費	9,182,000	2,757,620	30.0
機構集積の支援に係る経費	2,609,000	36,967	1.4
その他の経費	1,367,000	27,111	2.0
合計	13,158,000	2,821,698	21.4

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

II 定期監査を終えて

- 1 公文書の作成について、記載誤りや押印漏れなどが散見されており、引き続き細心の注意を払い、文書の作成、また確認にあたられたい。特に外部への通知に係る起案文書で浄書印や校合印の押印漏れ、また通知文書の決裁文書（原議書）で通知日が未記載のまま保存されているものを複数見受けた。決裁終了後に文書を通知する際には、浄書と校合により公文書となる通知文書の確認を徹底されたい。また、決裁文書（原議書）を公文書として保存する際には、起案者や文書主任による起案文書や決裁文書（原議書）の再確認を行うなど、適切な公文書の管理を徹底されたい。
- 2 調定処理について、一部の所属において調定漏れを見受けたことから、歳入の収入状況について正確に把握し、適切な収入未済額の管理と調定処理に努められたい。
- 3 支出負担行為に係る事務処理について、一部の所属において専決区分の誤りや必要な合議の漏れを見受けたことから、事務処理の際には事務決裁規程の確認を徹底されたい。
- 4 補助金について、一部の所属において実績報告書とその関係証拠書類に記載誤りや不備が見られることから、補助金の実績報告を受けた際にはそれらを十分に確認するとともに、不備等がある場合は補助事業者に対し適切に指導されたい。
- 5 不用となった備品について、一部の所属において備品台帳から除却されたものの、備品自体の廃棄処分ができていない事案を見受けた。

備品については定期的に確認を行うとともに、不用となったものについては、速やかに廃棄処分されたい。
- 6 時間外勤務については、令和元年度から職員の超過勤務命令の上限設定（月45時間以下かつ年360時間以下）が行われているが、一部の職員において上限設定を超過して勤務している状況を見受けた。

所属長は、業務分担の見直しなど時間外勤務の適正な管理に努めるとともに、健康相談の活用や年次有給休暇の計画的な取得の推進など職員の健康管理に十分留意されたい。

また、職員の健康増進や効率的な時間外勤務の実施のため、時間外勤務にあたっては一定の休憩時間を確保するようより一層取り組まされたい。